

# 「京都 日本画新展 2019」の概要

## 1 事業の趣旨

京都における日本画は、「京都画壇」として多くの人材を輩出し、今日に至っています。また、日本画の世界を通じて育った人材は、京都に伝来する美術、工芸、産業振興に広く深くかかわり、その基礎的部分を形成しています。

「京都 日本画新展」、そして「続(しょく)『京都 日本画新展』」を通して、日本画を志す若手作家たちが、生き生きと日本画を描くことを応援し、その活躍の場のひとつを提供してまいりました。

2018年度から、京都府、京都市、京都商工会議所が共催となり、「京都全体で本展に取り組む」ことをめざします。そして推薦委員には現在、芸術大学で教鞭をとられている方々を起用し、より幅広い、多様な出品者を期待します。また新たな審査委員を迎え、多角的な視野から作品審査を行います。

伝統と文化、そして大学の街・京都の特性を最大限に生かし、引き続き、日本画を志す若手作家とともに、京都ならではの日本画展をめざします。

## 2 主催者等

- 主 催 西日本旅客鉄道株式会社、京都新聞
- 共 催 京都府、京都市、京都商工会議所
- 協 力 文化庁 地域文化創生本部
- 後 援 京都府教育委員会、京都市教育委員会、KBS京都、エフエム京都

## 3 運営体制

### (1) 推薦委員 (50音順、敬称略)

- |        |              |
|--------|--------------|
| 石 股 昭  | (奈良芸術短期大学教授) |
| 雲丹亀 利彦 | (京都精華大学教授)   |
| 大沼 憲昭  | (嵯峨美術大学教授)   |
| 川嶋 涉   | (京都市立芸術大学教授) |
| 菅原 健彦  | (京都造形芸術大学教授) |
| 西久松 吉雄 | (成安造形大学名誉教授) |
| 村居 正之  | (大阪芸術大学教授)   |

※出品作家の推薦は2018年3月下旬に行ないました。

(2) 審査委員 (50 音順、敬称略)

太田垣 實	(美術評論家)
國賀 由美子	(大谷大学文学部教授)
野地 耕一郎	(泉屋博古館分館長)
畑 智子	(京都文化博物館学芸課長)
森口 邦彦	(友禅作家、重要無形文化財保持者)
山田 諭	(京都市美術館学芸課長)

## 4 企画概要

### (1) 参加概要

○原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね 25 歳から 45 歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品を要請、今回は 40 名が出品。

<参考>「京都 日本画新展」出品作品数

第1回 37名、第2回 38名、第3回 37名、第4回 37名、第5回 38名

続「京都 日本画新展」

第1回 39名、第2回 38名、第3回 38名、第4回 38名、第5回 39名

○出品依頼候補者の選出に当たっては、京滋の美術系大学を中心として、日本画の継承に尽力する現場教員などと情報交換の機会を得て、推薦対象を積極的に拡大。

○大賞 1 点 (表彰楯と賞金 50 万円)、優秀賞 1～2 点程度 (表彰楯と賞金 20 万)、奨励賞・京都府知事賞、奨励賞・京都市長賞、奨励賞・京都商会議所会頭賞 (いずれも表彰状) を選出。※出品者全員に奨励金として 5 万円支給。

### (2) 作品の条件

テーマは自由。各 1 人 1 点のみとし、未発表作品に限る。

1 点の大きさ 80 号 M (1455 mm × 894 mm) 以上

100 号 S (1620 mm × 1620 mm) 程度 ※額縁は 70 mm 以内とする

### (3) 作品の発表

#### ① 美術館「えき」KYOTO での作品展

【実施期間】2019 年 1 月 25 日 (金) ～ 2 月 4 日 (月) 計 11 日間

J R 京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTO で作品展を開催。

※作品展には推薦委員にもご出品いただきます。

#### ② ホテルグランヴィア京都での作品展

【実施期間】2019 年 2 月 6 日 (水) ～ 4 月 11 日 (木)

※一定期間での展示替えを実施 (推薦委員の作品は除く)

#### ③ J R 西日本発行物、京都新聞紙面で作品紹介

## 5 事務局

京都新聞COM事業局事業部 〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル  
TEL:075(255)9758/FAX:075(255)9763 (平日の午前9時30分-午後5時30分)  
作品の画像を希望される方は、事務局にお問い合わせください。

### 参 考

「京都 日本画新展 2019」開催にあたり、以下の特別企画を予定しています。

- (1) 「京都 日本画新展 in 二条城～100人の画家・嵯峨野線を旅して～」  
世界遺産 元離宮 二条城において、「京都 日本画新展」および、「続『京都 日本画新展』」出品者による作品展示 (2019年2月16日～3月3日開催予定)  
※別途広報予定
- (2) 「京都 日本画新展 記念シンポジウム  
日本画の未来・京都の役割～in 先斗町歌舞練場～」  
日時：2019年1月19日(土) 午後2時～午後4時  
場所：先斗町歌舞練場  
パネリスト：原田マハ(小説家)、野地耕一郎(泉屋博古館分館長)ほか  
コーディネーター：田島達也(京都市立芸術大学教授)
- (3) 「京都新聞総合研究所 提携講座 もっと知りたい! 京都のミュージアム」  
「京都日本画新展」に過去出品し、異なる個性をもつ作品で活躍する若手日本画家3人を招き「日本画の魅力」について考えていきます。  
日時：2018年12月17日(月) 午前10時30分～正午  
場所：佛教大学四条センター
- (4) 京都デスティネーションキャンペーン「第53回京の冬の旅」  
今年のテーマを「京都にみる日本の絵画」とし、特別公開やイベントを実施